

— Lions Clubs International District 334-C —

the Lion

ザ・ライオンタイムズ DISTRICT 334-C

2017-2018

VOL.3

第64回地区年次大会報告

地区ガバナー大賞・ガバナー特別賞紹介

334複合地区 第64回年次大会報告

事務局だより



64th YEARLY CONVENTION

第64回地区年次大会

新緑薫風の華月、2018年5月13日(日)第64回地区年次大会が、地区内80クラブから1,200名の参加者を得て、沼津市民文化センターを会場に開催されました。ジオサイトをはじめとする海・山・川の自然豊かな沼津市で、「新たな100年へ」をスローガンに掲げ、強い意思のもとに次の100年に向けてスタートを切りました。



会場入口



会場外観

代議員会

代議員による投票は、10時30分から11時10分まで実施されました。代議員会では、岩崎一雄議長(地区ガバナー)の進行により、提出7議案の投票結果が岩崎地区ガバナー・芹澤 覚指名選挙委員長から発表されました。確定決議結果は、地区ホームページ(会員専用)に掲載されています。



代議員投票風景



登録受付



代議員会会場風景



代議員会会場風景



代議員会会場風景



代議員会会場風景

大会式典

定刻13時、細澤啓司キャビネット幹事の司会進行により、岩崎一雄地区ガバナーの開会宣言で式典の幕が上がりました。鈴木静一大会委員長の歓迎の挨拶、岩崎地区ガバナーの年次報告と代議員会決議結果報告に引き続き、来賓の土屋優行静岡県副知事、頼重秀一沼津市長の祝辞と式典は隔々と進み、今年度各クラブ奉仕活動の集大成「年次表彰」に移りました。



司会進行の細澤キャビネット幹事



岩崎地区ガバナーによる開会宣言



鈴木大会委員長歓迎の挨拶



岩崎地区ガバナーの年次報告



来賓の土屋静岡県副知事ご挨拶



来賓の頼重沼津市長ご挨拶

64th YEARLY CONVENTION

第64回地区年次大会

年次表彰

今年度のアクティビティ・スローガン“新たな100年へ全ての奉仕に光と愛を！”の下、各クラブで実施された奉仕活動は大きな成果を上げて、次年度に引き継がれました。年次表彰では、14賞・101クラブ・5ゾーンが受賞しました。



地区ガバナー大賞



表彰アシスタントの桐陽高等学校のお三方



地区ガバナー特別賞



年次表彰風景



年次表彰風景



年次表彰風景

ガバナーエレクト登場と式典は終盤へ

次年度334-C地区を担う橋本勝策ガバナーエレクトが、鈴木國弘次期キャビネット幹事の先導により登場しました。

岩崎ガバナーから橋本ガバナーエレクトが紹介され、鈴木次期キャビネット幹事・小濱勝廣次期キャビネット会計の紹介があり、長谷川眞三次期年次大会委員長から第65回年次大会の案内がありました。

大石清美次期第一・久保田紀之次期第二副地区ガバナーの紹介に引き続き、今年度の地区委員長11名がステージ上に整列、一年間の活躍に対して拍手が送られました。



橋本ガバナーエレクトご夫妻登場



現・次期ガバナー固い握手



現・次期ガバナー夫妻がお揃い



次期キャビネット幹事・会計の紹介



一年間の慰労の想いを込めて花束贈呈



長谷川次期年次大会委員長の挨拶



ガバナーエレクト登場演奏のぼんだウインドオーケストラ



大石次期第一副地区ガバナー・久保田次期第二副地区ガバナー 岩崎ガバナーと本年度地区委員長11名



64th YEARLY CONVENTION

第64回地区年次大会

大会式典アトラクション

式典に先立ち、昼食後の12時25分から大ホールにて、飛龍高等学校「飛龍太鼓」の勇壮な和太鼓演奏に続いて、大富士with雄大「よさこい演舞」の笑顔で楽しい踊りが披露されました。

また、式典途中には加藤学園高等学校の「逍遙歌」「チアードانس」により、清楚で且つ力強い踊りが華を添えました。



飛龍高等学校「飛龍太鼓」の勇壮な和太鼓演奏



大富士with雄大「よさこい演舞」の笑顔で楽しい踊り



加藤学園高等学校「逍遙歌」「チアードانس」の清楚で且つ力強い踊り

第64回地区年次大会 記念チャリティゴルフ大会

第64回地区年次大会に先立ち、4月16日(月)沼津ゴルフクラブにおいて、地区内から234名が参加して、恒例のチャリティゴルフ大会が開催されました。

チャリティ資金40万円は、静岡県内の盲導犬支援センター、フードバンクふじのくに、静岡県聴覚障害者協会に寄贈させていただきました。



受付



おにぎりとお汁のサービス



ワンオンチャレンジのドネーションは146名の皆様にご協力頂きました



表彰式：総合優勝 L.望月二郎(静岡LC)・準優勝 L.上滝憲夫(浜松グリーンLC)・三位 L.三島時政(沼津中央LC)





地区ガバナー年次報告

ライオンズクラブ国際協会334-C地区 地区ガバナー 岩崎 一雄

ライオンズクラブ国際協会334-C地区・2017～2018年度地区ガバナーとして、年次報告を申し上げます。

私は昨年7月4日、米国・シカゴで開催された記念すべき第100回国際大会閉会式において地区ガバナーに就任し、今日までナレシュ・アガワル国際会長のテーマ「We Serve」のもと、地区アクティビティ・スローガンとして「新たな100年へ全ての奉仕に光と愛を！」を提唱し、基本方針主要項目に「GMT・GLT活動の推進」「LCIF寄付（献金）の推進」「単一クラブの円滑な運営と活発な活動促進」の3項目を挙げ、新たな世紀に踏み出した記念すべき年度として、来し方を振り返り未来を見つめて現行の全ての奉仕活動に「光」をあてて精査し、全てに「愛の伴う」奉仕活動の推進を、とお願いしてまいりました。

以来300日余、各クラブ会長各位をはじめとして地区内メンバー各位に於かれては、私の気持ちを真摯に受け止めていただき、素晴らしい活動を実施下さる中で、今日の日を迎えることができました。ここに年次報告を申し上げるにあたり、会員各位に深甚なる感謝の意を表する次第であります。

基本方針の第一に挙げさせていただいた「GMT・GLT活動の推進」につきまして、今年度は特に当地区の会員の維持・増強については大変厳しい状況下におかれ、各位のご努力が成果に繋がることなく今日に至り、大変残念に思っております。今後は今年度スタートしたGAT（グローバル・アクション・チーム）により、GMT（FWT）・GLT・GST・LCIFの連携が本格化することにより、単一クラブの活性化と共に会員の維持・増強につ

なげていただきたいと心から念願致します。

次に「LCIF寄付（献金）の推進」につきましても、年度当初に掲げた300口のMJF寄付目標を達成することができず残念なことではありますが、是非今後も会員各位の温かいご理解により、寄付の推進をいただきますようお願いするところであります。LCIF寄付につきましては、寄付を施される側より寄付をする側の立場にあることが幸せであり、私共の寄付行為によって救われるであろう、多くの困窮した地域や人々の為にも、一層強力なご支援とご協力をお願いしたいと考えております。

「単一クラブの円滑な運営と活発な活動促進」につきましては、ライオンズクラブ創立101年目、新たな歩みへの第一歩として、今までの活動を振り返ると共に奉仕活動の全てに光を当てて見極め、時宜に応え、地域社会の要請に応え得る「愛の伴った奉仕活動」の実行をお願い致しました。

さらに今年度は国際協会の「100周年記念奉仕チャレンジ」の最終年度に当たることから、「レガシー事業」の推進についてもお願い申し上げましたが、各位のご理解とご協力により、各地域に記念となる活動の歴史を刻んでいたことに心から感謝を申し上げる次第です。

終わりに、地区名誉顧問各位はじめ、地区役員各位、各クラブ会長をはじめとする地区内メンバー各位の温かいご支援ご協力に支えられ、地区ガバナーとしての重責を担いつつ今日の日を迎えることができたことに衷心より厚く感謝申し上げます。当334-C地区の今後のますますの発展と隆盛を祈念して、今年度地区ガバナーとしての年次報告と致します。

誠にありがとうございました。

2017～2018年度地区活動総括報告

2017年7月1日～2018年3月31日

1. アクティビティ集計表

労力奉仕	延時間数	金銭奉仕	総金額
867件	28,718時	1,372件	99,488,319円

2. 会員異動状況

2017年7月初 会員数	入会者数	退会者数	増減	2018年3月末 会員数	平均出席率
3,383人	153人	209人	-56人	3,327人	81.6%

3. YCE交換実績

区 分	受 入	派 遣	合 計
夏 季	4人	5人	9人
冬 季	3人	0人	3人
合 計	7人	5人	12人

4. 献眼・献腎・献血実績

献眼者数	献腎者数	献眼登録者数	献血実績		
75人	1人	111,030人	200ml	400ml	成分
			232人	5,472人	821人

5. LCIF献寄付実績

クラブ寄付金額	MJF寄付金額	LCIF寄付金総額
7,193,296円	20,514,000円	27,707,296円

第64回地区年次大会

第64回地区年次大会年次表彰受賞クラブ一覧表 (クラブ名順不同)

●地区ガバナー大賞 (1クラブ)
静岡LC

●地区ガバナー特別賞 (3クラブ・1ゾーン)
磐田LC/藤枝翼LC/3R1Z5LC/熱海LC

●会員維持賞 (6クラブ)
浜松リパティLC/浜北LC/奥浜名湖LC/三ヶ日LC/富士宮中央LC/東伊豆LC

●会員増強賞 (21クラブ)
浜松グリーンLC/森町LC/袋井LC/浜北LC/三ヶ日LC/菊川LC/大東LC/御前崎LC/大須賀LC
静岡橋LC/清水羽衣LC/静岡駿府LC/沼津LC/富士吉原LC/富士中央LC/富士マウントLC/熱海LC
下田LC/東伊豆LC/土肥LC/伊豆長岡LC

●グッドスタンディング賞 (5クラブ)
沼津千本LC/富士中央LC/富士吉原LC/静岡橋LC/御殿場LC

●MC賞 (5クラブ)
御前崎LC/浜松ひかりLC/静岡駿府LC/小山LC/伊東LC

●青少年健全育成賞 (8クラブ)
袋井LC/浜松ホストLC/島田LC/清水日本平LC/富士マウントLC/裾野LC/下田LC/修善寺LC

●YCE賞 (6クラブ)
森町LC/清水日本平LC/富士マウントLC/裾野LC/下田LC/土肥LC

●三献運動推進賞 (8クラブ)
浜松東LC/静岡リパティLC/静岡葵LC/静岡翼LC/小山LC/御殿場LC/裾野LC/富士宮LC

●環境保全推進賞 (5クラブ)
浜松ホストLC/川根LC/静岡弥生LC/御殿場LC/天城湯ヶ島LC

●LCIF・MJF賞 (6クラブ)
静岡葵LC/藤枝翼LC/沼津千本LC/沼津香陵LC/沼津中央LC/富士宮中央LC

●LCIF・クラブ献金賞 (5クラブ)
藤枝翼LC/焼津LC/富士宮中央LC/湖西LC/榛南LC

●光と愛の奉仕賞 (19クラブ・4ゾーン)
浜松さくらLC/磐田シニアLC/奥浜名湖LC/菊川LC/大須賀LC/2R1・2・3Z16LC/静岡青葉LC
2R2Z5LC/清水LC/蒲原LC/清水みなとLC/藤枝LC/静岡リパティLC/静岡けやきLC
富士岳南LC/清水町LC/芝川LC/西伊豆LC/三島LC/函南LC/河津LC

●クラブ会報・ホームページコンテスト (3クラブ)
会報の部: 浜松ホストLC/静岡葵LC
ホームページの部: 沼津中央LC

※以上、14賞・101クラブ・5ゾーン

GOVERNORS AWARD

ガバナー大賞紹介



子どもたちと、希望の未来に向かって

2R・1Z 静岡LC

現代社会にあって、債務や借金、DVや離婚などの要因で家庭の維持が困難となり、世帯主に代わって不本意な状況下で働かざるを得ない女性が多い。さらにその影響が子どもにまで及び、経済的負担を強いるケースも報告されている。このような現実を知り得た時、子どもという社会的弱者に負の連鎖を及ぼさないためにも、何らかの支援でこの状況を改善へと導けないか、という思いに駆られる。因みに、日本の子どもの貧困率は厚生労働省の調査によれば16.3%で、6人に一人が貧困状態にあるとの報告もある。

そうした中、静岡ライオンズクラブはCN60周年の今年度を迎えるにあたって「子どもの貧困」を社会的課題と捉え、彼らへの支援を本年度の運営指針の中に盛り込むことを決定した。

具体的には今年度の事業費から200万円を拠出し、「静岡ライオンズ子ども支援基金」として創設するものである。これは子どもの貧困のような社会的ひずみに対しては諸団体や学校、教育委員会を通じて日常から支援できる仕組みの必要性を感じたからに他ならない。今年度は「てのひら」「静岡市校長会」へ子ども支援基金からの拠出を行い、関連アクティビティとして「静岡ホーム」へ記念時

計台を贈呈し、環境整備の象徴である「大浜ビーチフェスタ」に協賛した。

さらに「日本語学校」を後援し、「ベトナム・フエ市からの留学生」を受入れた。今後はこの「子ども支援基金」の継続と拡大が静岡ライオンズクラブの奉仕活動の重要な柱になって、社会との接点を形成していくことになる。

「子どもは社会の宝」、「輝ける未来の象徴」であるべきはすが、「貧困」という子どもたちを取り巻く現実到我々は目をそらすわけにはいかない。将来ある子どもや志（こころざし）高き若人を支援する事で、希望の未来が約束され、彼らが成長してやがて将来へと光を放つその瞬間まで、静岡ライオンズクラブは彼らの良き応援団となって歴史を作り時代を共有しようと、強く思う。



ガバナー特別賞紹介



3名の派遣生の活躍に期待

1R・2Z 磐田LC

YCEの派遣事業に“ガバナー特別賞”を賜り大変晴れがましく思います。

当クラブはこの20年間派遣がありませんでした。また、前年度にクラブから山内複合地区YCE委員長が出向した貴重な経験を活かすべく本年度の最重点記念事業と位置づけました。ライオンズの基本に立ち返り、方針を「一般公募により選出」「労力奉仕で資金獲得」そして「派遣生は複数名」としました。優秀な応募生を公平に選出するために、応募には小論文を課し、市広報の伝言板欄に掲載、YCEプログラムのチラシを手作りし市内各所へ配布、市内全高校の校長先生と面談し生徒への通知を依頼するなどの努力の結果15名の応募を得ることができました。3日かけて面接とクラブ内討論の末、なんとか3名の候補生に絞り込みました。

来期8月の派遣や、帰国後の日本への受け入れ生とのキャンプ等を契機に、彼女達が広い見識を得て国や民族を超えた友人たちと協力して世界や人々の平和のために活躍し、YCEプログラムが成功することを祈ります。

派遣資金獲得のため昔の磐田名物サツマイモの販売を企てました。食糧難の時代、人々を飢餓から救ったという磐田原台地のサツマイモです。会員所有の畑に農家から頂い

た苗を植え付け、真夏の雑草取りで大汗をかき、やっと秋の収穫ができました。10月29日の全国から軽自動車の屋台が集まる「全国軽トラ市 in いわた」やアイブラザふれあい広場などで、ドラム缶利用の手作り窯で大きな芋は焼き芋に、小ぶりな芋は女性会員の活躍でスイーツにして完売することができました。会員持ち寄りのバザー販売品の売り上げも合わせた収益30万円はすべてYCE派遣費用としました。例年行っている事業と記念事業との同時進行で次々と続く労力奉仕に、ホームページのブログには「怒涛の磐田ライオンズクラブです」の文字が躍っていました。





感謝と感激を未来へ 「ギネス達成」記念碑を市に寄贈

2R・3Z 藤枝翼ライオンズクラブ

第64回地区大会において、名誉ある地区ガバナー特別賞受賞との知らせを受け、会員一同感激と喜びで一杯です。誠にありがとうございました。藤枝翼LCは本年度クラブ創立30周年を迎えました。これもひとえに地域の皆様に温かくご支援頂いたお陰であり、多くのクラブメンバーの皆様、そして藤枝翼を愛し、常に「われわれは奉仕する」の精神で支え、育て頂いた諸先輩ライオンのお陰です。30周年記念事業の一環として、この感謝と感激を形あるものとして残したいというメンバーの強い想いから例会等で数回にわたる話し合いを行いました。その結果、藤枝市民の皆さんが集う場所に何らかの記念碑を建立しようという事となりました。しかしどのような物がいいのか、なかなか決まらず頭を悩ませていました。建立場所は公的な場所になる為、市役所にも相談を行いました。そんな折、藤枝市では従前より全市を挙げて取り組んでいる花に触れ合う、花のある生活、花のまちづくり「ふじえた花回廊」の機運をさらに醸成する為、市民が参加して花の植えられたプランターを蓮華寺池公園にズラリ並べて長い、長い花の列を作るというギネス世界記録に挑戦するイベントを2017年3月18日に行い、見事3117、17メートル「世界一長い花の列」としてギネス世界記録とし

て認定されました。この偉業と藤枝翼LC30周年記念事業の記念碑建立とをコラボ出来ないかと考え、藤枝市役所担当部署と協議を行いました。その結果、市民の憩いの場所である蓮華寺池公園の畔の一等地を記念碑建立場所として市が提供してくれる事となりました。記念碑は「インバラブルー」という石材で製作、プレートにはギネス記録3117、17メートル、イベントで使われた花の種類等が刻まれています。10月17日の記念碑除幕式には藤枝市長北村正平氏、副市長栗田隆生氏、クラブメンバーが出席して完成を祝いました。記念碑は市に寄贈いたしました。素晴らしい記念碑が出来上がりました。ぜひ実物を観にご来藤下さい。



ガバナー特別賞紹介



100周年記念奉仕チャレンジ 四つの分野全てで奉仕活動を実施

3R・1Z 沼津5LC(沼津LC・沼津千本LC・沼津香陵LC・沼津中央LC・沼津駿河LC)

●沼津・5LCフェスタ 開催

3R・1Zの168名全員から毎月1,000円積立開始(1年間)で事業資金拠出。2017年12月までに100周年記念事業「①青少年②視力③食料支援④環境」の4つの分野で奉仕事業を実施することが決められました。第1弾として、沼津・5LCフェスタを沼津中央公園にて開催しました。5,000人以上の市民の皆様の参加があり、献眼登録70名、400名献血25名、会員提供によるバザーは147,500円の売り上げとなりました。

●スポGOMI大会in沼津 開催

ゴミ拾いを競う環境にやさしいスポーツ。小・中・高校生他19チーム、82名参加。優勝チームは集めたゴミが8kgを超えました。

●市社会福祉協議会に10万円寄付

青少年の支援のために、バザー売り上げより沼津市社会福祉協議会に10万円寄付を実施した。

●アイバンク推進協議会全国大会 富士山大会開催

角膜障害で光を奪われた人達に、人としての「真心」を伝える運動それがアイバンク運動です。一人でも多くの方に、少しでも早く光を届けるためには、角膜移植に対する皆様の理解と意識向上が不可欠です。目と心に光をもたらす光と愛のボランティアの輪がさらに広がり、皆様がア

イバンク運動の伝道者として角膜移植の普及及び啓発に努めて献眼登録を推進することを目的としています。研修会、講演会、市民無料参加のコンサート開催(400名参加)。各クラブに目標設定を決めて1,000眼の献眼登録を達成した。

●大岡子ども食堂及びLCIFに食料支援

沼津5LC合同例会にて食費を節約しドネーションを含めて大岡子ども食堂に15万円、LCIFに1千ドルの献金をした。

(ライオン誌2018年3・4号に掲載されました)





熱多戦「熱海中学校・多賀中学校運動部対抗戦」の後援 アタミジュニアグランプリと教育講演会の後援

4R・1Z 熱海LC

●熱多戦「熱海中学校・多賀中学校運動部対抗戦」の後援

1985年、スポーツの交流を通して荒廃する学校の風紀を正そうと、熱海ライオンズクラブと両校のPTAが協力して「熱嵐戦」と称して、熱海中学校と小嵐中学校が野球部の対抗戦を始めました。

2014年中学校統合により現在は、熱海中学校と多賀中学校が、野球・バスケットボール・バレーボール・卓球・テニスの5競技で、春と秋に「熱多戦」とその名称を変え引継いでいます。

白熱した試合は勿論、試合前の応援合戦も見応えがあり、多くの生徒や保護者を巻き込み盛大に行われます。今年度で通算65回を数え、毎回クラブ会長は実行委員会にも出席し、試合当日は祝辞と始球式、表彰式のプレゼンターも務めています。

●アタミジュニアグランプリと教育講演会の後援

ジュニアグランプリは、熱海市青少年健全育成会市民会議が主催となり、18歳までの青少年を対象として、文化・芸術・学問部門・スポーツ部門・ボランティア部門の個人、団体に於いて、優秀な青少年を表彰する表彰事業です。

本年は、17年目を迎え、エントリーの中より個人57人、団体23件の方々が審査会に於いて選考されました。

この表彰活動が、児童や生徒一人一人の夢や志を持つことの一助になる事を期待し、また非行や犯罪に対する予防や抑止力を目的に開催しています。

毎回、表彰者の顔写真入りチラシを市内全戸に配布します。クラブ会長は審査会にも参加し、表彰式には熱海市長と共に祝辞とプレゼンターを務めています。

同日行われる「教育講演会」は熱海市PTA協議会が主催となり、次代を担う心豊かな子供達を育てるため「教育の原点は家庭にある」ということを深く自覚し、今後の充実した情操教育の実践の為に、様々な方々の後援を通して今後の活動に生かす機会として開催しています。本年は㈱対話教育研究所代表取締役 小山秀樹氏を招き「親子のコミュニケーションを深めるコーチング」をテーマに講演を実施しました。

何れの事業も、熱海ライオンズクラブの継続事業であり、立ち上げ当時から関わってきています。教育委員会・学校・PTA・各教育団体との結び付も太く、その築き上げて来た信頼関係の中で、これからも青少年育成事業への積極的な取り組みは、変わることはありません。

334複合地区 第64回年次大会報告



大会誌



会場案内



祝電

梅雨入り前の快晴の天気の中、6月3日（日）三重県津市の産業・スポーツセンター「サオリーナ」及び「メッセウイングみえ」に於いて334複合地区第64回年次大会in三重が開催されました。

中部8県5地区から2,400名余、当C地区からは362名の登録がありました。代議員会に先立ち、資格証明委員会・議事運営委員会・決議委員会が行われました。

いよいよ式典の始まりとなり、334複合地区第64回年次大会会長、日高邦彦による開会宣言に続き、国歌「君が代」・「ライオンズクラブの歌」の斉唱が行われました。その後、334複合地区第64回年次大会委員長、堀崎豊二より歓迎の挨拶がありました。

三重県知事・津市長他の祝辞の後、334複合地区ガバナー協議会議長、野村善弘による年次報告、日高邦彦決議委員長の決議報告がなされました。

式典も後半に移り、2018-2020年度国際理事候補者のし、安澤莊一より挨拶がなされ、その後、緊張の面持ちで各地区のガバナーエレクトと次期役員が壇上に登壇し、野村善弘ガバナー協議会議長から次期議長へと議長キーが手渡されました。

来年の第65回複合地区年次大会開催地のD地区・富山県富山市が発表され、開催地メンバーから熱い意気込みの挨拶がありました。

大会も終盤を迎え、LCIF国際理事・元国際理事によるライオンズ・ローアによって大会は閉幕しました。

今回の複合地区年次大会は、し、日高邦彦大会会長をはじめとするB地区内・ホストクラブの心のこもった歓迎が随所に見られ、次年度以降の模範となる様な素晴らしい大会であったと感じました。



代議員会



代議員会



式典 来賓



式典 各地区ガバナー



式典 会計報告



3R1Z 100周年記念事業の発表



次年度第65回大会PR



歓迎パネル前

INFORMATION

事務局だより



2017~2018年度 第4回キャビネット会議報告

2017~2018年度最終となる第4回キャビネット会議が4月25日(水)静岡市において開催されました。当日の主要報告・協議事項は次の通りです。

●報告事項

国際会長アワードの伝達

第64回地区年次大会年次表彰クラブ・ゾーンについて

●協議事項

1. 地区3月末会計報告並びに監査報告
 2. 次期地区役員・三役セミナー実施について
 3. 第64回地区年次大会議案について
 4. 第64回地区年次大会スケジュール・使用会場について
- ※詳細は、第4回ガバナー諮問委員会でのZCからの報告と、第4回キャビネット会議議事要録(地区ホームページ)にてご確認下さい。

2018年1~5月 物故ライオン

逝去日	物故ライオン名	所属クラブ
2018.1.8	L. 眞木 隆	浜松さくらLC
2018.1.26	L. 齋藤 勝	静岡岡LC
2018.2.12	L. 松本 英雄	富士岳南LC
2018.2.25	L. 杉山 好男	三島泉LC
2018.2.28	L. 中村 恒次	湖西LC
2018.3.1	L. 谷口 和範	葦山LC
2018.3.8	L. 阿形 好男	御前崎LC
2018.3.19	L. 片山 勝廣	御殿場LC
2018.3.22	L. 中村 一勝	大東LC
2018.3.23	L. 鈴木 克彌	静岡駿府LC
2018.3.25	L. 松井 次子	掛川LC
2018.4.30	L. 久米 安伯	三ヶ日LC

次期クラブ三役セミナー開催

2018年5月7日(月)静岡市・グランシップにて次期地区役員・クラブ三役セミナーが開催されました。次年度クラブ役員各位のご活躍を期待申し上げます。

編集後記

地区誌一年間のご愛読ありがとうございました。

今回は、PR委員会の名称が、MC(マーケティング・コミュニケーション)委員会に変更になりました。さらに、地区誌の発行回数を3回(紙面2回・Web版1回)とさせていただきます。発行回数が減りましたが、その分内容の濃いものに仕上がったと思います。

表紙と裏表紙は、各リジョンの「海」をテーマにして、静岡県内の様々な表情をした海を採用させて頂きました。

毎回の発刊に際しましては、委員のL.山本忠史・L.伊藤健太郎・L.三島時政・L.櫻井清生の皆様にご協力を頂き、さらにキャビネット幹事L.細澤啓司・同副幹事L.池谷 勝のご指導も頂きました。本当にありがとうございました。

また、委員の皆様には、毎月のMCレポートの整理・採点・内容チェック等、ご苦労様でした。おかげさまで、MC賞の受賞クラブもスムーズに決定しまして感謝しております。これからも、各クラブのMC活動の充実に、ご尽力頂ければ幸いです。

最後に、委員会の皆様との出会い、キャビネット事務局の皆様にご感謝申し上げまして編集後記とさせていただきます。

地区MC委員長 L.山岡史明



the Lion

ザ・ライオンタイムズ DISTRICT 334-C



船中のライオンタイムズは自然エネルギー、再生エネルギーで稼働中。

飛鳥IIと清水港

ザ・ライオンタイムズ

2017-2018 VOL.3

発行日 / 2018年6月30日 発行所 / 地区ガバナー 船橋一橋 船重君 / MC事務局 山岡史朗 発行 / ライオンズクラブ国際協会334C地区(静岡県) MC事務局・IT委員会 〒422-8067 静岡県静岡市駿河区南町6-1 静岡第一ビル3階
TEL (054) 286-8022 FAX (054) 286-8019 URL <http://www.lions334-c.org> E-mail webmaster@lions334-c.org 印刷 / 株式会社石川印刷 〒426-0022 静岡県静岡市駿河区南町16-1 静岡第一ビル3階
TEL (054) 641-0245